

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：ぶれすと白鳥ほいくえん	種別：認可保育所
代表者氏名：田澤 祥子	定員（利用人数）：30名（33名）
所在地：川崎市麻生区白鳥3-5-1	
TEL：044-455-7266	ホームページ： https://hoikuen.brest.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 ブレストインターナショナル	
職員数	常勤職員：11名 非常勤職員：7名
専門職員	保育士：15名 調理員：2名
施設・設備の概要	乳児室：1室 沐浴室：1室
	幼児室：1室 調理室：1室
	事務室：1室 トイレ：3か所

③ 理念・基本方針

【保育理念】

「違いを認めて学び合う」

年齢・性別・人種・文化・職業・障害など人々には様々な違いがあります。幼い頃から違いを認めてグローバルな心を育てる環境を実践していきます。

【保育方針】

- ・「まなびがあそび、あそびがまなび」

子ども達の心豊かな成長を「あそび」の中で育成します。様々な「遊び（体験）」を通して、言葉・感受性・表現力を身に着け、創造性や自立心を育てます。

- ・「思いやりの心を育てる」

一人一人を大切にした保育を実践します。

お子様に関わる大人が、子どものことを思い愛することで他者を思い合う心を育てます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

ぶれすと白鳥ほいくえんは、小田急多摩線栗平駅から徒歩1分、駅前にありながら緑豊かで閑静な住宅街にあります。鉄筋4階建てのクリニックビル1階が園舎で、0、1歳児と2～5歳児を扉で分けたワンフロアの保育室とテラスがあります。同ビルに歯科、隣のビルに小児科があり、嘱託医と連携を図りやすい環境にあります。また、近隣には公園が多く、消防署や交番、小学校もあります。

2017年4月に開園して4年目の保育園で、学習塾事業、保育園事業、カルチャースクール事業、就労支援事業を展開する株式会社ブレストインターナショナルが運営しています。定員は0～5歳児30名で、現在33名が在籍しています。

【園の特徴】

保育理念に沿って、なんでも柔軟に吸収する貴重な幼少期の教育を大切にする保育園を目指しています。子どもたちが楽しく学べるような言語教育・知育・遊びを中心とした保育を行い、プレストグループの学習塾部門の資源を子どもの指導に取り入れています。

英語が学べる保育園として、外国人スタッフが日常的に子どもと遊ぶなど、グローバルな心を育てる保育を実践しています。

作業効率化プロジェクトとして、ICT（情報通信技術）化を進めています。職員が「子どもたちと接する時間」を大切にするために、指導計画の作成や記録等の業務全般に保育アプリを導入しています。また、職員と保護者がコミュニケーションや情報共有のツールとして保育アプリ等を使用しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月20日（契約日） ～ 2021年2月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ ― 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 子どもの遊びを豊かにするための職員の取り組み

園では子どもの遊びを豊かにすることを課題として捉え「既存のおもちゃに頼らない遊びの工夫」を職員全体で取り組んでいます。子どもが考えて遊べるようにブロックなどの知育玩具を複数用意しており、日ごろからブロックでドミノ倒しなどを行っています。保育士がおもちゃを作ったり、子どもが遊びを見つけだしたりできるように職員間で遊びの工夫を検討しています。0歳児クラスでは、ポットン落としやぬいぐるみ、袋物などを保育士が手作りしています。1、2歳児クラスでは新聞紙をちぎって袋に詰め、ボールにして遊ぶなどの工夫をしています。3～5歳児クラスでは、子どもたちが考えて協同し、達成感を持てるような遊びを取り入れたり、紙とペンだけで遊んでみるなどの工夫をしています。

2. 理念や保育方針にもとづいた保育の実施

職員には、理念や保育方針の周知を徹底しています。理念や保育方針は、入社時に運営会社から配付する手引書に記載があり、運営会社のホームページにも掲載しています。職員は手引書を読んで研修を受け、年2回の自己評価チェックで理解度を量っています。また、必要に応じて園長が研修を実施しています。職員は理念や保育方針を理解してから保育を実施することになっており、職員は子どもとの時間を大切にしたい、子どもが違いを認め合い、思いやりの心を持てるような保育の実践に努めています。

3. 職員間や保護者とのコミュニケーションと情報共有

職員と保護者が対面に加えて保育アプリ等を活用することで、職員間や保護者とのコミュニケーションや情報共有をスムーズに行っています。職員間はいつでも話し合える体制があり、園長や主任を中心に信頼関係を築くように努めています。また、職員と保護者間は送迎時だけでなく、いつでも保育アプリでメッセージを交換できる体制にあります。子どもの情報や職員、保護者に必要な情報は保育アプリで共有しています。保護者は連絡帳をお迎え前に見ることができ、お迎え時に職員に相談したり確認したりしています。

◇改善を求められる点

1. 理念や方針を実現するための総合的な人材育成計画の策定

① 園では運営会社の理念にもとづいて、保育士一人ひとりの得意分野を生かしながら、保育士として活躍できるように環境を整備しています。運営法人の理念から「期待する職員像」は読み取ることができ、人事基準等は明確にしていますが、理念や基本方針を実現するためには総合的な人材育成計画の策定が望まれます。

②職員が未来を描けるように、どのような人材に育成していくのかを段階的に示すキャリアパス等の策定が望まれます。

③外部研修については職員の希望を募り、園長と主任で年間研修計画を策定しています。研修計画においては、キャリアパス等を見据えて、職員一人ひとりの年間研修計画を策定することが望まれます。

2. 中・長期計画と単年度の事業計画の具体的な内容設定

園運営を持続するための中・長期計画や事業計画には、先を見据えた課題設定や具体的な計画の設定が望まれます。中・長期計画では、園の将来を見据えた実現可能な具体策を明確にし、さらに単年度の事業計画では中・長期計画の内容を具体化することが求められます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園4年目にあたり、0歳から5歳児まで全てのクラスが揃いましたので、園運営を見直すという観点から第三者評価を受審させていただくことになりました。

今年はコロナ禍のため、保護者の方々とのコミュニケーションや園での様子をご覧いただく機会が極めて少なかったにもかかわらず、保護者からいただいた評価を拝見すると思った以上に園運営へのご理解をいただいていることがわかり、感謝の気持ちでいっぱいになりました。ご期待に応えるべく、頂いた多くの貴重なご意見やご要望に真摯に向き合いながら職員一同精進してまいりたいと思います。

ふれすとほいくえんの保育方針の一つである一人一人のお子様を大切にされた保育の実践に向けて、今回の第三者評価の結果をもとにこれからも自己の振り返りと職員の研修の機会を多く設けてまいります。ご指摘を受けました計画やマニュアルにつきましてもしっかりと見直し、今後の課題として取り組んでいきます。

今後もより良い園運営を心掛け、子ども達が毎日を楽しく過ごすことができ、保護者の皆様が安心して預けられる園を目指していきたい所存です。

最後に、ご多忙にもかかわらず利用者調査にご協力いただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり